

2026年8月4日

FTSE JPX Blossom Japan Index、FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index およびFTSE4Good Index Seriesの構成銘柄に選定

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、環境、社会、ガバナンス（ESG）投資における代表的な指数で、グローバル インデックスプロバイダーである FTSE Russell が運用する FTSE JPX Blossom Japan Index^{※1}（6年連続6回目）、FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index^{※2}（5年連続5回目）およびFTSE4Good Index Series^{※3}（6年連続6回目）の構成銘柄に選定されました。

ヤクルトグループは、企業理念「私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。」、コーポレートスローガン「人も地球も健康に」のもと、サステナビリティ経営を推進しています。昨年度は、長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」の実現をより確かなものにするため、環境・社会の変化を踏まえてマテリアリティを再設定するとともに、「環境目標 2030」および「ヤクルトグループ人権方針」の改定などに取り組み、サステナビリティ経営の推進基盤を強化してきました。

今回の選定は、当社グループが継続的に推進してきた環境、社会、ガバナンス（ESG）に関する取り組みが評価されたものと認識しています。

ヤクルトグループは、これからも社会課題の解決と企業価値の向上を両立し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

- ・ヤクルトグループのサステナビリティに関する詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

[URL] <https://www.yakult.co.jp/company/sustainability/>

※1 FTSE JPX Blossom Japan Index

FTSE JPX Blossom Japan Index はグローバル インデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE JPX Blossom Japan Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

FTSE Russell の評価は気候変動、健康と安全性、コーポレートガバナンス、腐敗防止、といった分野について行われており、FTSE JPX Blossom Japan Index の構成銘柄である企業は、環境、社会、ガバナンス（ESG）に関する様々な基準を満たしています。

※2 FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス (ESG) について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

※3 FTSE4Good Index Series

FTSE4Good Index Series は、グローバルインデックスおよびデータプロバイダーである FTSE Russell によって作成されたもので、環境、社会、ガバナンス (ESG) の各分野において優れた取り組みを行う企業のパフォーマンスを測定することを目的としています。

FTSE4Good 指数は、責任投資ファンドやその他の投資商品の組成および評価を行うために、幅広い市場参加者によって活用されています。FTSE Russell の評価は、気候変動対応、労働安全衛生、コーポレートガバナンス、腐敗防止などの分野における企業の取り組みに基づいて行われます。

以上